



目は星に向け、足は地につける時間 High School DRIVE vol.5

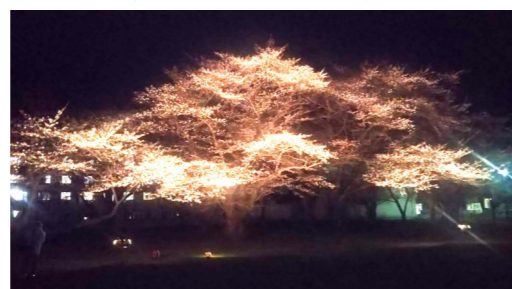
3月23日（土）、盛岡劇場タウンホールで、High School DRIVE vol.5（主催：ドリーム・シード・プロジェクト）が開催されました。この事業は、平成30年度盛岡市地域福祉人材育成事業の一環として開催されたもので、高校生と大人が、共に地域課題に目を向け、その解決のためにできる事などについて意見を出し合いました。

高校生から提案された話題は、「震災を体験した釜石の高校生が語る、内陸に住む人に伝えたい防災対策」「築川の魅力×盛岡の隠された魅力～築川を高校生のデートスポットに」「スマイルプラザ～高校生によるいじめ相談場所づくり」の3つ。思い描く地域像や、自分達ができることなど様々な提案が行われました。



岡の隠された魅力～築川を高校生のデートスポットに」「スマイルプラザ～高校生によるいじめ相談場所づくり」の3つ。思い描く地域像や、自分達ができることなど様々な提案が行われました。

東厨川地区 さくらまつり (4月20日～21日)



東厨川地区福祉推進会（佐藤栄一会長）は、前九年公園でさくらまつりを開催しました。このイベントは、地域の資源を有効活用して住民同士の親睦を図ることを目的に、毎年開催されています。

日中は、見頃を迎えた桜の木の下で焼肉を楽しんだり、凧揚げ会が行われるなど、大いに盛り上がりました。

さらに、今年度は身近な場所で夜桜も楽しむことが出来るよう、桜のライトアップも行われました。日中の華やかな姿とは打って変わり、闇夜に浮かび上がった幻想的な桜の姿を残そうと、写真撮影する人も訪れていました。

【平成30年・31年】盛岡市が新たに認証したNPO法人を紹介します

☆ 日本在宅フットケア普及協会

活動目的：子供からお年寄りまで、健康な方から足部や足爪に問題がある方に対して、フットケア（足のお手入れ）に関する事業を行い、フットケアワーカーが誇りと自信をもって仕事を遂行でき、足のお手入れが習慣になる社会を創造することに寄与することを目的とする。

認証日：平成30年1月19日

☆ ウルシネクスト

活動目的：国内外を問わず広く一般の誰もが漆に関する活動を行い、それにより地域や活動参加者などの暮らしや生活の活性化および漆関連産業、学術、文化、芸術の振興に寄与することを目的とする。

認証日：平成31年1月9日

NPO法人は、毎事業年度初めの3ヶ月以内に、「事業報告書」等を所轄庁に提出しなければなりません。4月1日が事業初めの法人の提出期限は、6月30日です。忘れずに提出しましょう。

また、平成30年10月1日から、“資産の総額”の登記が不要となり、“貸借対照表の公告”が必要になりました。この改正に伴い、定款を変更した法人は、忘れずに「定款変更届出書」等を提出してください。



回															
覧															

発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535（直通）
E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp
(令和元年5月発行)



ひなの会 作品展



手芸サークルひなの会（成田知子代表）は、3月21日（木）から3月26日（火）までの間、吊るし飾りを中心とした手芸品の作品展「ひなの会作品展」を開催しました。

同サークルのメンバーにより一つ一つ手作りされた約1万点の作品が、会場となった太田民俗資料館を彩りました。期間中、約850人が会場に訪れ、来場者は色鮮やかな作品を息を飲んで見つめていました。

太田民俗資料館は「盛岡市市民協働推進基金」を活用して実施した市民協働推進事業（まちづくり施設整備事業）により平成26年度に整備された施設です。また、本作品展は上記事業により整備された施設の活用促進を目的とする、平成30年度市民協働推進事業（施設等活用事業）の一環で開催されました。

詳しくは、盛岡市公式HPを御覧ください。（ページ番号：1022498）

仙北地区活動センターが新しくなりました！

仙北地区活動センター



1980年4月に開設された仙北地区活動センター。建築から約40年が経過し、老朽化などが課題となっていたことから、2018年6月から2019年3月までの間、市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づく大規模改修工事を実施。サンライフ盛岡との複合化・大規模改修工事が完了し、4月から共用が開始されました。

今回の改修工事では、新たにエレベーター棟を増築したほか、旧仙北プール跡地を駐車場として整備し、駐車スペースを約30台分拡充することで利用者の利便性向上を図りました。また、エアコンの設置、照明のLED化、トイレの洋式化をはじめ、屋根や壁を構成する部材の交換を行ったほか、間取りの変更も実施しました。



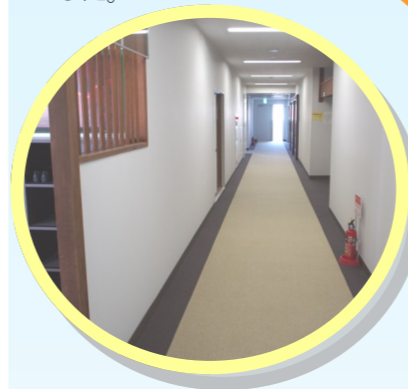
4月1日(月)、供用開始を記念して行われた落成式には、地域住民ら約40人が参加。市から整備概要が報告されたのち、テープカットなどのセレモニーが行われ、工事の完了を祝いました。

1979年に開設された青山地区活動センター・青山老人福祉センター・青山支所は、2018年6月から2019年3月まで大規模改修工事を実施。青山支所は3月25日から、青山老人福祉センター・青山地区活動センターは4月1日から共用開始となりました。



の学習支援の拠点施設としての機能も備えました。

4月1日(月)に行われた落成式には、地域住民ら約50人が参加。地域の交流の拠点となる施設の工事完了を祝いました。



今回の大規模改修では、エアコンの設置、照明のLED化、トイレの洋式化に加え、屋根や壁を構成する部材の交換や設備の更新などを実施することにより、施設の長寿命化を図りました。また、これまで中央通勤労青少年ホームにあったモリーオ教室機能を、青山地区活動センターへ移転。子どもたちの



青山地区活動センター・青山老人福祉センター・青山支所



青山地区活動センター
Aoyama Community Center
盛岡市立青山老人福祉センター
Aoyama Elderly Welfare Center
盛岡市役所 青山支所
City Hall Aoyama Branch Office